

取扱説明書

**BOSE**

**ACOUSTIMASS®**  
WIRELESS BASS MODULE

## 安全上の留意項目

---

**安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。**

### 安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要なときにご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- インバータ電源は使用しないでください。
- 車内や船上などで使用しないでください。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高2000mを超える高地での使用には適していません。

- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- 製品ラベルは本体の底面にあります。

## 規制に関する情報

---

This device complies with part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20 cm between radiator and your body.

This device for operation in the band 5150 – 5250 MHz is only for indoor use to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems.

W52屋内専用。

Receiver Category = 2

 Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU and all other applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: [www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance)

運用周波数帯および最大送信出力:

2412 – 2464 MHz、20 dBm EIRP 未満

5180 – 5240 MHz、23 dBm EIRP 未満

5725 – 5850 MHz、14 dBm EIRP 未満

### Management Regulation for Low-power Radio-frequency Devices

#### Article XII

According to “Management Regulation for Low-power Radio-frequency Devices” without permission granted by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power or alter original characteristic as well as performance to an approved low power radio-frequency devices.

#### Article XIV

The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere legal communications; If found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved. The said legal communications means radio communications operated in compliance with the Telecommunications Act.

The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.



This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

### 製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、ベースモジュールの底面に記載されています。

シリアル番号: \_\_\_\_\_

モデル番号: \_\_\_\_\_

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品のご登録をお願いいたします。

登録は、<http://global.Bose.com/register>から簡単に行えます。

**製造日:** シリアル番号の太字で表記されている1桁目の数字は製造年を表します。「7」は2007年または2017年です。

**中国における輸入元:** Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

**EUにおける輸入元:** Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

**台湾における輸入元:** Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan  
Phone Number: +886-2-2514 7676

**メキシコにおける輸入元:** Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone Number: +5255 (5202) 3545

**入力定格:** 100 ~ 240V ~ 50/60 Hz、55W

*Bluetooth* のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Bose Corporation はこれらの商標を使用する許可を受けています。

**HDMI** REGISTERED TRADEMARK HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIのロゴはHDMI Licensing, LLCの米国および他の国々における商標または登録商標です。

SoundTouch および音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの登録商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2017 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

## 目次

---

### 内容物の確認

内容物 .....	7
-----------	---

### 設置ガイド

ワイヤレス信号の干渉を回避する .....	8
-----------------------	---

### セットアップ

電源に接続する .....	9
---------------	---

サウンドバーとペアリングする .....	10
----------------------	----

音が出ることを確認する .....	11
-------------------	----

ADAPTiQ®自動音場補正について .....	12
--------------------------	----

ADAPTiQ自動音場補正を実行する .....	12
--------------------------	----

### ベースモジュールを使用する

低音を調節する .....	14
---------------	----

低音の設定を元に戻す .....	15
------------------	----

### ステータスインジケータ

システムステータスインジケータ .....	16
-----------------------	----

### 補足事項

お手入れについて .....	17
----------------	----

交換部品とアクセサリ .....	17
------------------	----

保証 .....	17
----------	----

### 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら .....	18
------------------	----

ADAPTiQ®自動音場補正を完了できない .....	20
-----------------------------	----

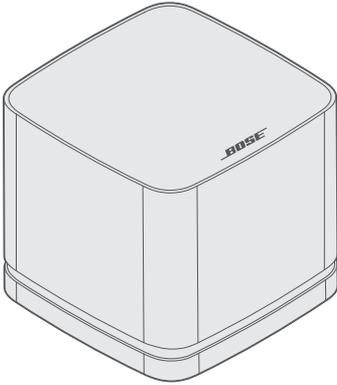
サウンドバーへの接続をリセットする .....	21
-------------------------	----

ベースモジュールをリセットする .....	22
-----------------------	----

音声ケーブルを使用して接続する .....	23
-----------------------	----

## 内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Acoustimass® wireless bass module



電源コード\*

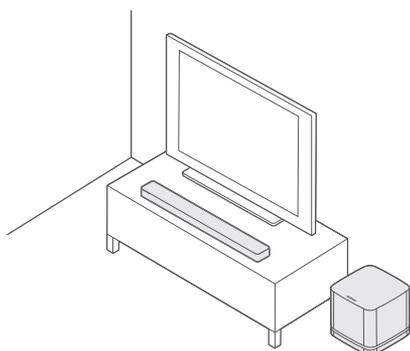
\*電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

**注:** 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。  
弊社Webサイト: [global.Bose.com/Support/SSS](http://global.Bose.com/Support/SSS)

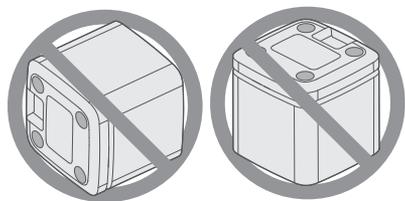
## 設置ガイド

---

- 安定した水平な面に設置してください。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でベースモジュールの位置がずれることがあります。
- ゴム足のついたベースモジュールをテレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。
- ベースモジュールの背面(Bose®ロゴのある側とは反対側)を、壁や家具などから8 cm以上離してください。前面下部にある開口部が塞がれると、音響性能が低下する恐れがあります。
- 低音を強めたい場合は、ベースモジュールを壁や部屋の隅に近づけてください。低音を弱めたい場合は、ベースモジュールを壁や部屋の隅から離してください。
- ベースモジュールの上には物を置かないでください。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。



**注意:** ベースモジュールの天面や側面を下にした状態で使用しないでください。



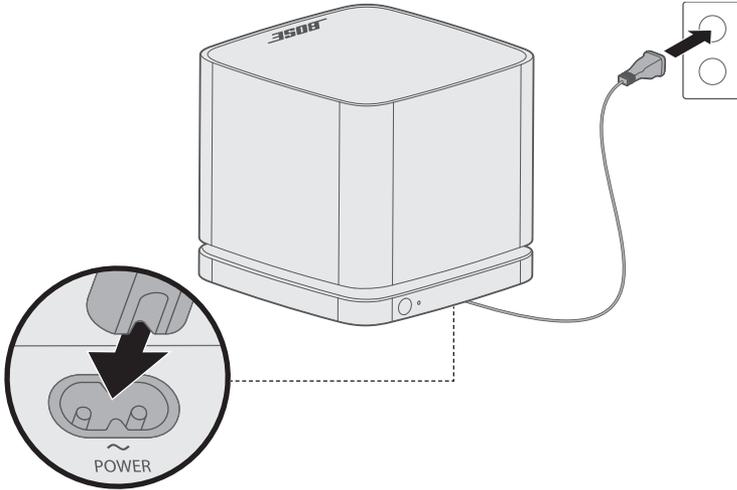
## ワイヤレス信号の干渉を回避する

---

- ワイヤレス信号の干渉を回避するには、ほかのワイヤレス機器から30～90 cmほど離れた場所に設置します。
- ベースモジュールは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。

## 電源に接続する

1. 電源コードをベースモジュールの **POWER** 端子に接続します。



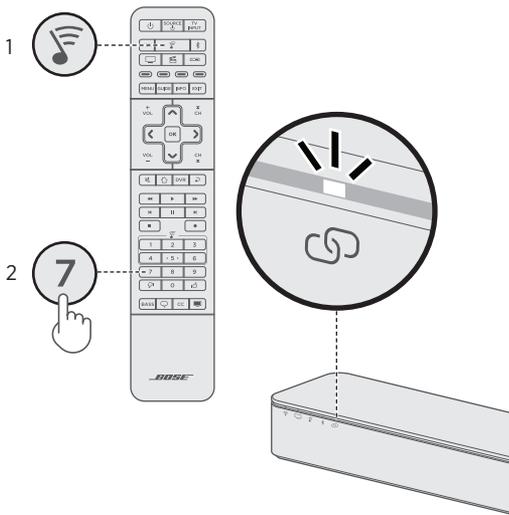
2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。

## サウンドバーとペアリングする

ベースモジュールとサウンドバーをペアリングするには、リモコンを使用して、サウンドバーをペアリングモードに切り替える必要があります。

1. リモコンのSoundTouch® ボタン  を押します。
2. サウンドバーの接続インジケータ  が白に点滅するまで **7** ボタンを長押しします。

ペアリングされると、ベースモジュールからビープ音が聞こえます。ベースモジュールの背面にあるインジケータとサウンドバーの  インジケータが白く点灯します。



### 注:

- ペアリングには数分かかる場合があります。
- ベースモジュールとサウンドバーをペアリングできない場合は、18ページをご覧ください。

## 音が出ることを確認する

---

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/衛星チューナーやその他の外部機器を使用する場合:
  - A. 接続機器の電源をオンにします。
  - B. 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。サウンドバーのリモコンで外部機器を操作できるように設定していない場合は、外部機器のリモコンをお使いください。
3. サウンドバーの電源をオンにします。

接続機器の音がベースモジュールから聞こえます。

**注:** ベースモジュールから音が出ない場合は、18ページをご覧ください。

# ADAPTiQ® 自動音場補正について

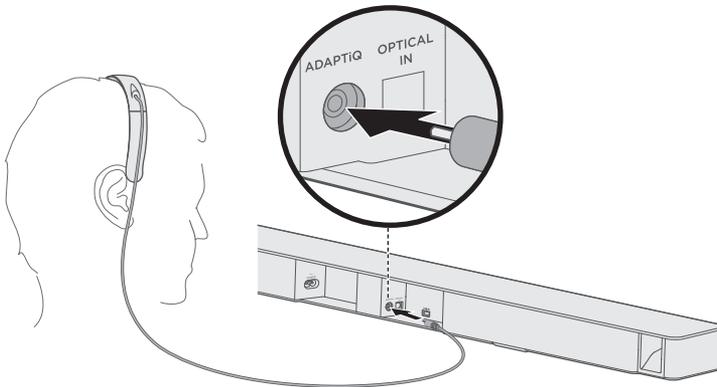
---

ベースモジュールの設置とサウンドバーとのペアリングが終わったら、システムの音響性能を最大限に引き出すため、ADAPTiQ®自動音場補正を実行します。ADAPTiQ自動音場補正は、システムが設置されている部屋の5箇所で測定を行い、音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静かな状態に保つ必要があります。

ADAPTiQ自動音場補正は、最適な音場にするためにADAPTiQ用ヘッドセット(サウンドバーに付属)に内蔵されたマイクでお部屋の音響特性を測定します。

## ADAPTiQ自動音場補正を実行する

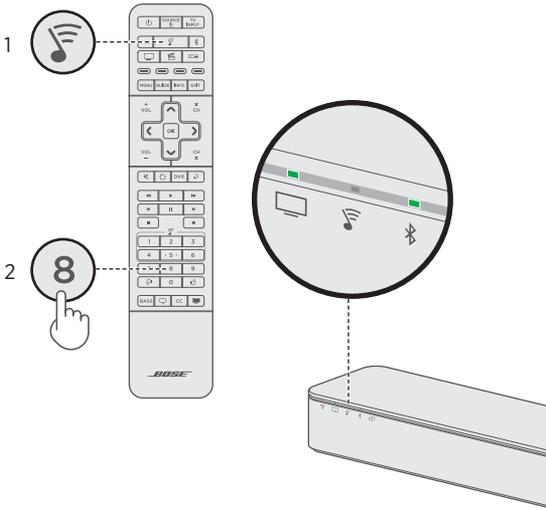
1. ADAPTiQ用ヘッドセットのケーブルをサウンドバーの背面にある**ADAPTiQ**端子に接続します。



2. ADAPTiQ用ヘッドセットを装着します。

3. リモコンのSoundTouch® ボタン  を押します。
4. サウンドバーのTVインジケータ  とBluetooth® インジケータ  が緑に点灯するまで **8** ボタンを長押しします。

ADAPTIQ® 自動音場補正が始まります。



**注:** 音声ガイドが日本語でない場合は、ナビゲーションパッドの  ボタンと  ボタンを押して言語を変更します。言語をリセットするには、**8** ボタンを10秒間長押しします。

5. 音声ガイドに従い、ADAPTIQ 自動音場補正を完了します。  
エラーメッセージが聞こえてADAPTIQによる自動音場補正を完了できない場合は、20ページをご覧ください。
6. ADAPTIQ用ヘッドセットのプラグをサウンドバーから抜き、安全な場所に保管してください。

**ヒント:** ベースモジュールまたは家具を移動した場合は、ADAPTIQ 自動音場補正システムを再度実行して音質を調整してください。

## 低音を調節する

SoundTouch® appまたはリモコンを使用して、システムの低音を調節できます。SoundTouch® appについて詳しくは、SoundTouch® 300の取扱説明書をご覧ください。次のサイトをご参照ください。global.Bose.com/Support/SSS

1. リモコンの **BASS** ボタンを押します。



現在の低音の設定に応じて、サウンドバーのインジケーターが点灯します。

低音設定	インジケーターの表示
+4	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.
+3	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.
+2	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.
+1	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.
0 (デフォルト)	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.
-1	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the TV icon.
-2	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the TV icon.
-3	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the TV icon.
-4	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the TV icon.

2. リモコンで次のように操作します。
  - **+** VOL ボタンを押すと、低音の音量が上がります。
  - **-** VOL ボタンを押すと、低音の音量が下がります。
3. **BASS** ボタンを押します。

設定内容がサウンドバーに保存されます。

**注:** ニュースやトークショーなどの対話やトークのみの番組を最適な音質で楽しむには、「ダイアログモード」を有効にします。詳しくは、SoundTouch® 300の取扱説明書をご覧ください。  
次のサイトをご参照ください。 [global.Bose.com/Support/SSS](http://global.Bose.com/Support/SSS)

## 低音の設定を元に戻す

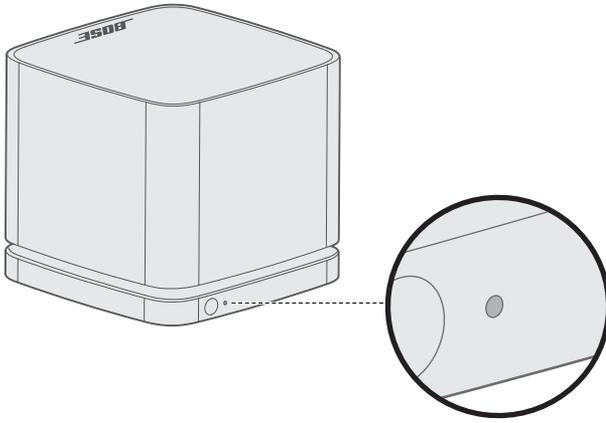
サウンドバーのSoundTouch®インジケータ  が2回点滅するまで、リモコンの**BASS** ボタンを長押しします。

低音の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## ステータスインジケータ

---

システムステータスインジケータはベースモジュールの背面にあります。



## システムステータスインジケータ

---

ベースモジュールのシステム状態を示します。

インジケータの表示	システムの状態
白の点灯	サウンドバーに接続されています
白の点滅	ソフトウェアのアップデートをダウンロードしています
オレンジの点灯(暗い)	サウンドバーへの接続が解除されています
オレンジの点滅	ペアリングができます
オフ	省電力モード
赤の点滅	ファームウェアエラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

---

## お手入れについて

---

- ベースモジュールの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。
- ベースモジュールの外装は柔らかい布でから拭きしてください。
- ベースモジュールの近くでスプレー等を使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

---

## 交換部品とアクセサリー

---

交換部品とアクセサリーは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください。[global.Bose.com/Support/SSS](http://global.Bose.com/Support/SSS)

---

## 保証

---

製品保証の詳細は弊社Webサイトをご覧ください。また、製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

本製品の保証内容は、オーストラリアおよびニュージーランドでは適用されません。オーストラリアおよびニュージーランドでの保証の詳細については、弊社Webサイト ([www.Bose.com.au/en\\_au/support/policies.html](http://www.Bose.com.au/en_au/support/policies.html) または [www.Bose.co.nz/en\\_nz/support/policies.html](http://www.Bose.co.nz/en_nz/support/policies.html)) をご覧ください。

## 故障かな？と思ったら

---

ベースモジュールに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- ベースモジュールとサウンドバーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントに差し込みます。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- システムのステータスインジケータの状態を確認します(16ページを参照)。
- ベースモジュールとサウンドバーを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から離します。
- 設置ガイドに沿ってベースモジュールを設置します(8ページを参照)。

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください。 [global.Bose.com/Support/SSS](http://global.Bose.com/Support/SSS)

症状	対処方法
ベースモジュールとサウンドバーをペアリングできない	<ul style="list-style-type: none"><li>• システムステータスインジケータを見て、ベースモジュールがペアリングできる状態かどうかを確認します(16ページを参照)。インジケータはオレンジに点滅します。</li><li>• ペアリングの手順を繰り返します(10ページを参照)。</li><li>• ベースモジュールとサウンドバーを以前にペアリングしていた場合は、ベースモジュールとサウンドバーの接続をリセットします(21ページを参照)。</li><li>• ベースモジュールとサウンドバーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントに差し込みます。</li><li>• 3.5 mmステレオ音声ケーブルを使用して、ベースモジュールとサウンドバーを接続します(23ページを参照)。</li></ul> <p><b>注:</b> 3.5 mmステレオ音声ケーブルはヘッドホンやモバイル機器の接続に使用されるものです。お持ちでない場合の入手方法については、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。ケーブルはお近くの家電量販店などでもお求められます。</p>

症状	対処方法
音が途切れる/聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• システムのミュートを解除します。</li> <li>• 音量を上げます。</li> <li>• サウンドバーで音が出ていることを確認します。音が出ていない場合は、SoundTouch® 300の取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の情報をご確認ください。 次のサイトをご参照ください。 <a href="http://global.Bose.com/Support/SSS">global.Bose.com/Support/SSS</a></li> <li>• システムステータスインジケータを見て、ベースモジュールとサウンドバーがペアリングされていることを確認します(16ページを参照)。インジケータが白く点灯します。</li> <li>• ペアリングの手順を繰り返します(10ページを参照)。</li> <li>• ベースモジュールとサウンドバーを以前にペアリングしていた場合は、ベースモジュールとサウンドバーの接続をリセットします(21ページを参照)。</li> <li>• 設置ガイドに沿ってベースモジュールを設置します(8ページを参照)。</li> </ul>
音質が良くない、音が歪む	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 別の接続機器で試してみます。</li> <li>• 設置ガイドに沿ってベースモジュールを設置します(8ページを参照)。</li> <li>• ベースモジュールから保護フィルムをすべて剥がします。</li> <li>• ADAPTiQ®自動音場補正を実行します(12ページを参照)。</li> </ul>
低音が強すぎる/弱すぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• システムの低音を調整します(14ページを参照)。</li> <li>• ADAPTiQ自動音場補正を実行します(12ページを参照)。</li> <li>• ベースモジュールを壁や部屋の隅から離します。</li> </ul>

故障かな？と思ったら

## ADAPTiQ® 自動音場補正を完了できない

音声ガイドから以下のエラーメッセージが聞こえる場合があります。

エラーメッセージ	症状	対処方法
1	ADAPTiQ用ヘッドセットのマイクで音声を検出できません。	<ul style="list-style-type: none"><li>すべてのケーブルをしっかりと接続します。</li><li>ADAPTiQ用ヘッドセットのケーブルを外して、サウンドバーのADAPTiQ端子にしっかりと接続し直します。</li><li>ADAPTiQ用ヘッドセットの上部にあるマイクの開口部が塞がれてないことを確認します。</li><li>ADAPTiQ用ヘッドセットが破損している可能性があります。Boseカスタマーサービスに連絡してヘッドセットを交換してください。</li></ul>
2	室内がうるさすぎます。	室内が静かになったら、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行します。
3	ADAPTiQ用ヘッドセットがスピーカーに近すぎます。	ADAPTiQ用ヘッドセットをスピーカーから離します。
4	測定するリスニングポジションが近すぎます。	既に測定したリスニングポジションから30～60 cm離れた場所まで移動します。
5	ADAPTiQ用ヘッドセットが動いたために測定できません。	測定中は、頭を動かさないようにしてください。

問題を解決した後で、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行する必要があります(12ページを参照)。

このほかのエラーメッセージが聞こえた場合は、Boseカスタマーサービスにご連絡ください。

---

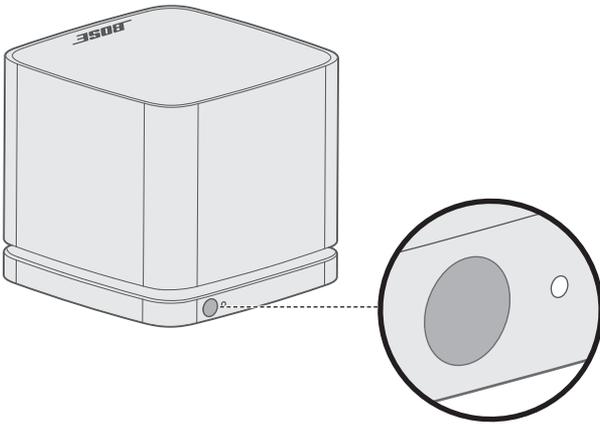
## サウンドバーへの接続をリセットする

---

ベースモジュールとサウンドバーをペアリングできない場合は、ベースモジュールのワイヤレス接続をリセットします。接続をリセットすると、サウンドバーとベースモジュールが再度ペアリングを試みるため、ペアリングの問題が解消する場合があります。

ベースモジュールとサウンドバーの接続をリセットするには、ベースモジュールの背面にあるボタンを押します。

ペアリングされると、ベースモジュールからビープ音が聞こえます。



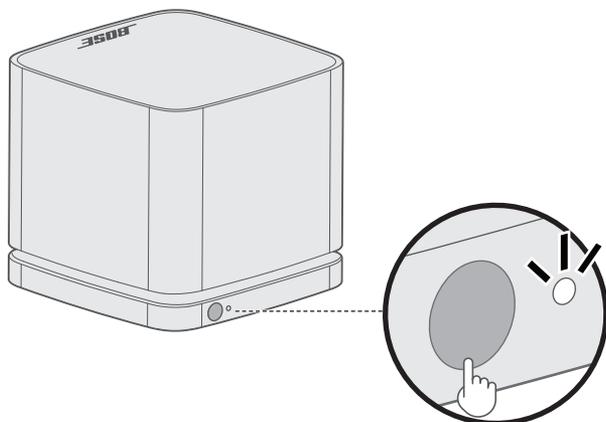
## ベースモジュールをリセットする

---

工場出荷時の設定にリセットすると、ベースモジュールのペアリング情報がすべて消去され、出荷されたときの設定に戻ります。

1. システムステータスインジケータが白く点滅するまで、ベースモジュールの背面にあるボタンを長押しします。

リセットが完了すると、システムステータスインジケータがオレンジ色に点滅します。



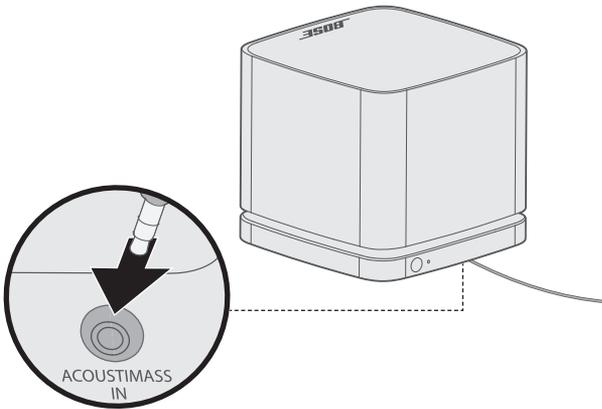
2. ベースモジュールとサウンドバーをペアリングします(10ページを参照)。

## 音声ケーブルを使用して接続する

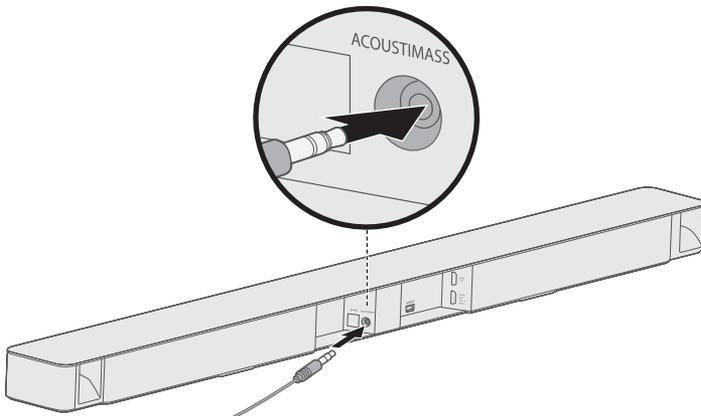
ベースモジュールとサウンドバーをペアリングできない場合は、3.5 mmステレオ音声ケーブル(別売)を使用して接続することもできます。

3.5 mmステレオ音声ケーブルはヘッドホンやモバイル機器の接続に使用されるものです。お持ちでない場合の入手方法については、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。ケーブルはお近くの家電量販店などでもお求めになれます。

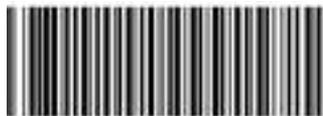
1. 3.5 mmステレオ音声ケーブルの一方を、ベースモジュールの**ACOUSTIMASS IN**端子に接続します。



2. ケーブルのもう一方を、サウンドバーの背面にある**ACOUSTIMASS**端子に接続します。



3. 音が出ることを確認します(11ページを参照)。



796262-0010

***BOSE***

©2017 Bose Corporation, The Mountain,  
Framingham, MA 01701-9168 USA  
AM796262 Rev. 00